

網走中部署 温根湯合同森林事務所（北見市留辺蘂町栄町8-2-4）に利用した木材に係る炭素貯蔵量（CO₂換算）

延べ床面積	国産材 利用量	国産材の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)	木材全体 利用量	木材全体の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)
92 m ²	33 m ³	23 t-CO ₂	33 m ³	23 t-CO ₂

この表示は、林野庁「建築物に利用した木材の炭素貯蔵量の表示ガイドライン」（令和3年10月1日付け3林政産第85号林野庁長官通知）に準拠し、この建築物に利用した木材が貯蔵している炭素（CO₂換算）の量を示すものです。木材は、森林が吸収した炭素を貯蔵しており、木材を建築物等に利用していくことは、「都市等における第2の森林づくり」としてカーボンニュートラルへの貢献が期待されています。

【計算式】

木材の材積(m³) × 密度(t/m³) × 炭素含有率 × 44/12 = 炭素貯蔵量(CO₂換算) (t-CO₂)

【計算】

○ 集成材	トドマツ	7.60 m ³	×	0.348 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	4.8 t-CO ₂
○ 集成材	カラマツ	2.09 m ³	×	0.435 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	1.7 t-CO ₂
○ 製材	ヒノキ	0.71 m ³	×	0.383 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.5 t-CO ₂
○ 製材	トドマツ	17.89 m ³	×	0.348 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	11.4 t-CO ₂
○ 合板	カラマツ	3.78 m ³	×	0.542 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	3.8 t-CO ₂
○ 製材	カラマツ	0.25 m ³	×	0.435 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.2 t-CO ₂
○ CLT	カラマツ	0.27 m ³	×	0.435 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.2 t-CO ₂
○ フローリング	ミズナラ	0.02 m ³	×	0.592 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.0 t-CO ₂
○ ウッドカーペット	ヒノキ	0.17 m ³	×	0.383 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.1 t-CO ₂
										計
										22.7 t-CO ₂

（責任者名） 北海道森林管理局 総務企画部 経理課 経理課長

（連絡先） TEL 050-3160-6281